

報道関係者各位  
プレスリリース

2016年3月15日  
株式会社バニーホップ

コスト 1/10 で高精度なセンシング：バニーホップ「IoT for SENSE」を発表  
～Raspberry Pi をビジネス利用可能な IoT プラットフォーム～

株式会社バニーホップ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：澤 規仁、以下 バニーホップ）は、Raspberry Pi を利用して加速度、温度、電流などを、高精度にセンシング可能な IoT プラットフォーム「IoT for SENSE」をリリースしたことを発表します。

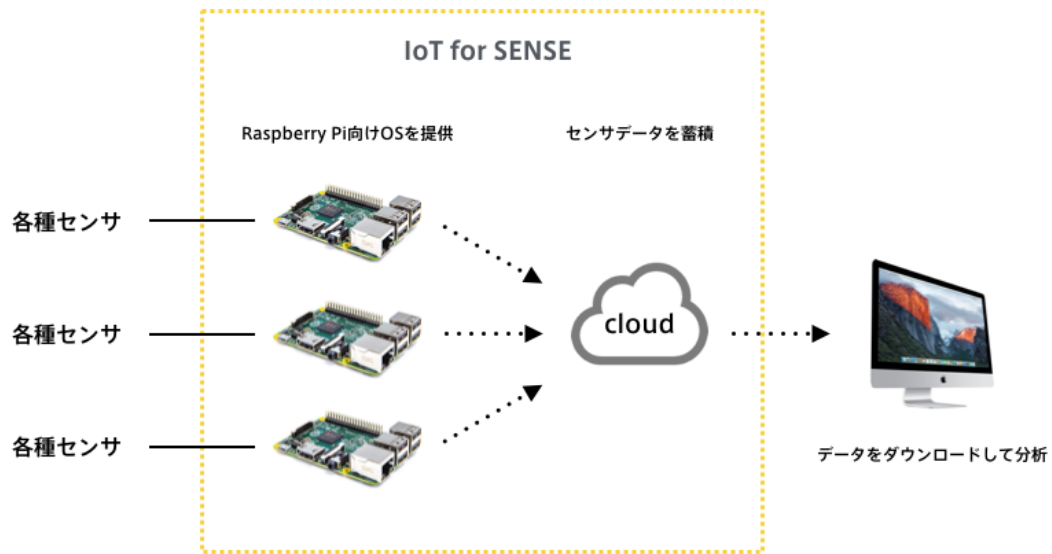
IoT for SENSE

<https://www.bunnyhop.jp/biz/#iotforsense>

#### ① 新商品の特徴

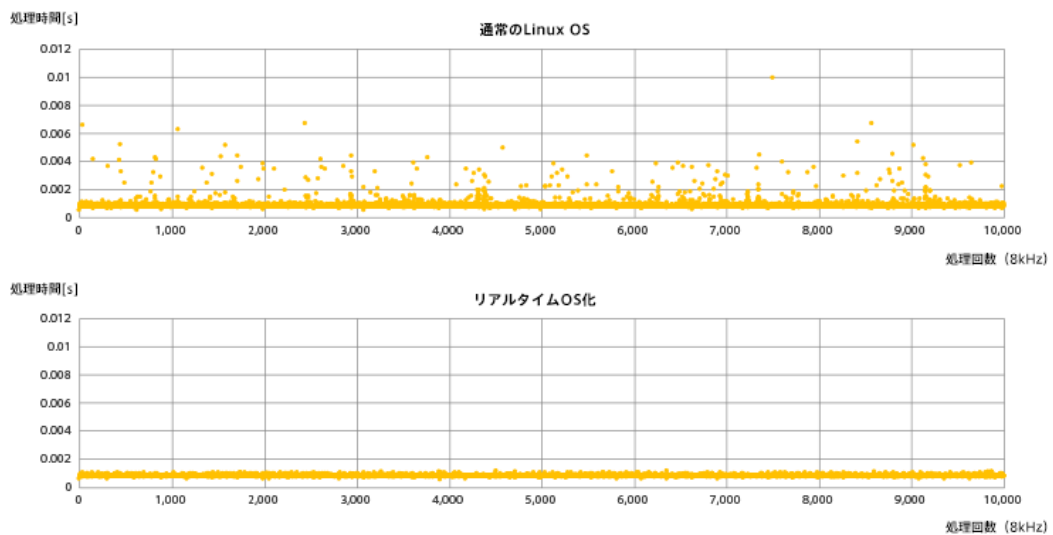
- ・Raspberry Pi 向けに、独自にセンシングに特化した OS を開発、データの欠落が少なく、高精度のセンシングが可能です。
- ・秒間数 kHz でサンプリングし、5 秒毎にクラウドにアップロードされます。データ形式はビッグデータとして分析が容易です。
- ・ネットワーク障害時は、データを Raspberry Pi 上に一時保存し、復旧後に自動でデータを再送信します。
- ・Raspberry Pi を利用しているから、低コスト、短納期です。
- ・Raspberry Pi 上のソフトウェアはクラウドからアップデートが可能、ハードウェアのバグ改修や機能追加がリモートでできます。

## 「IoT for SENSE」で提供する機能



安価に多数のセンサーを配置し、クラウドでデータを一括管理します。

## 加速度センサから値を取得しファイルに書き込む処理時間の計測結果



センシングに特化した独自のOSは、リアルタイム処理が可能で、センシングのプロセスを最優先します。

## ②新商品開発の経緯や動機

・「IoT for SENSE」は1台あたりのセンサー端末コストがこれまでの10分の1程度で提供が可能になります。センサー端末を多台数で設置でき、多箇所から高精度のデータ分析を可能にします。いままでマイクロで計測していたデータが、マクロで把握できるようになります。

・例えば温度計測をする場合、一点では温度上昇がわかるだけですが、多点計測することで部分別に温度がわかりますので、発生源の特定ができるようになります。

## ③新商品の販売について

・「IoT for SENSE」は搭載するセンサーを選ばないため、各分野への適用が可能です。

・クラウド上のソフトウェアとRaspberry Pi用のOSをライセンス提供します。

・「IoT for SENSE」上で動作するアプリケーションを、独自仕様にカスタマイズ開発が可能です。

## ④今後の見通し

・数十台～数百台程度の小ロットで、オリジナルハードウェアがほしいニーズに応じていきます。

・既に導入実績があり、研究機関、小売、マーケティングなど、特に多点でのデータ分析ニーズがある分野に導入を進めていきたいと考えています。

## ■株式会社バニーホップについて

Raspberry Pi や Arduino などのオープンソースハードウェアを利用した、IoT プラットフォームを提供しています。新たなプロダクトやサービスに対して、低コスト、スピード納期で、試作開発からサービス運用までカバーしています。

■本リリースに関するお問い合わせ

株式会社バニーホップ 担当:末武

【TEL】 03-6407-1866 【E-mail】 info@bunnyhop.jp

【住所】 〒151-0053 東京都渋谷区代々木 5-67-1 Jビル B2

【公式サイト】 <http://www.bunnyhop.jp/>